

公 政 会



質問者
伊藤 容子議員

Q 敬老行事開催補助金について、次年度に復活することはないのか

A 本市の厳しい財政状況に変わりはなく、復活は考えていない

Q 今年の当初予算で廃止された敬老行事開催補助金について、市民の意見を聞く機会を持ち、市社協と十分な協議をしたのか。また次年度に復活することはないのか。

A 市民への意見聴取については、予算案の徹底した事業見直しを優先し、予算案の決定後も、予算発表時期との関係から、時間的な余裕がなかった。学区地区社会福祉協議会には、議会へ当初予算提案後の3月に説明周知した。補助金の支払いを市社会福祉協議会を通さなくなったこともあり市社協と協議を行っていない。敬老行事開催補助金は、本市の厳しい財政状況のもと、財政負担の非常に大きい市単独の補助金事業で、補助金の効果の対象者全員に行き渡ってない状況でもあり、やむなく廃止に至った。次年度以降についても、本市の厳しい財政状況に変わりはなく、補助金の復活は考えていない。

令和6年度当初予算における事業見直し一覧【福祉保健部】 【区分：廃止、削減、延伸、中止】 (単位：千円)

No.	所属名	中事業名	令和6年度	令和5年度	見直し額	区分	内容	理由
1	高齢福祉推進課	老人福祉月間事業	0	7,211	7,211	廃止	敬老行事開催補助金： △7,211千円	超高齢社会の中、今後も後期高齢者が増えていくことから、補助金事業の見直しを行い、補助金を廃止するため。
2	高齢福祉推進課	地域福祉人材確保・育成事業	0	1,000	1,000	廃止	介護人材確保・育成事業補助金：△1,000千円	事業実施による一定の効果が得られたことから、補助金を廃止するため。
3	障害福祉課	障害者住環境整備推進事業	1,000	1,250	250	削減	住宅改造費補助金： △250千円	他市町の状況や、限られた財源の中で持続可能な制度とするなどを勘案し、補助上限額を見直したため。

▲令和6年度当初予算における事業見直し一覧(福祉保健部)ー敬老行事開催補助金ー

Q 知事と世界遺産登録の要望をせず、都知事選の応援をしたことをどう考えるのか

A 市長の個人的な政務活動の一環として行ったもので、特に問題はない

Q 市長は、6月21日午前中に開催された市の予算常任委員会に出席せず、東京都知事選挙の石丸候補の応援に終日行かれた。同日午後、滋賀県知事が文化庁長官に、彦根城世界遺産登録の実現の支援の要望を京都で行ったが、市長は知事に同行し支援の要望をせず、都知事選の応援をしたことをどう考えるのか。行かなくてはいけない理由があったのか。

A 滋賀県知事の文化庁長官への要望は、彦根城の世界遺産登録だけではなく多岐にわたる県事業の要望で、他市の市長も同行せず私も出席していない。前日知事と電話したが、この要望活動のことも知らず、依頼も受けていない。知事には翌日、東京に向かう話もした。世界遺産登録の陳情は彦根市独自で働きかけ、何度も要望している。都知事選については、市長の個人的な政務活動の一環として行ったもので、特に問題はないと考える。



▲世界遺産登録を目指す彦根城



その他の質問

- ・市の政策形成と市民参画について
- ・市長の選挙のマニフェストについて
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりについて



夢みらい



質問者
矢吹 安子議員

Q 「稼げる彦根市」を目指し、どのように市民に伝え、還元するのか

A 稼いだ財源は、住民の福祉の維持・向上に還元するものである

Q 令和7年度当初予算立案の歳入増加策については、どのように「稼げる彦根市」を目指し、どのように市民に伝え、どのように還元していくのか、市長の見解は。

A 「稼げる彦根市」の取組は、彦根のブランド価値を高め、本市の関係人口を増やすことが重要である。ふるさと納税のように短期間で成果が出たもの以外に、彦根城の世界遺産、Jリーグ誘致の推進など、現在進行中のものもあり、これらが実現した場合大きな経済効果が期待できる。できるだけ予算を使わず行政目的を達成させるため民間活用を前提として話を進めている。

こういった取組は広報ひこねなどの様々な広報媒体で進捗状況も含め市民の皆様にお伝えし、稼いだ財源は、住民の福祉の維持・向上に還元するものであると考える。



美容家電

▲ふるさと納税の返礼品

Q 当初公約の現時点での達成度と、残された任期、次の任期に引き続かねばならないことは

A 公約全体の達成度はおおむね75%と評価でき、最優先課題は行財政改革

Q 当初あげた公約のうち、現時点での達成度と残された任期でやらなければならないこと、次の任期に引き続かねばならないことは。

A 達成できた公約は、「緊急のコロナ対策」「公共事業を費用対効果の高いものに厳選」「医療費負担削減」「ひこにゃんの新展開」。公約にはないが、新ごみ処理施設については道筋がついている。

一方、「小・中学校給食の段階的無償化」「彦根独自の小規模事業者への物流面でのサポート」は公約未達成。公約全体ではおおむね75%と評価している。

本市が厳しい財政状況に直面していることを強く認識し、持続可能な財政基盤を確立しなければ、福祉サービスや教育環境の充実などあらゆる行政サービスの提供や中長期的な施策の実現が困難である。まずは根幹である行財政改革に着手し、財政の立て直しを最優先課題とした。引き続き継続していかなければならない。



▲新規の図柄が増えたひこにゃん



その他の質問

- 彦根市における公共施設マネジメントについて
- 福祉・教育課題について

市政について
質す!

9月定例会個人質問

17人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

本会議では、事前申し込みによる手話通訳を実施しています。



ライブ・録画配信の視聴について

本会議は、ライブ・録画配信ともに映像でご視聴いただけます。

また、常任委員会と特別委員会についても、ライブ配信を映像でご視聴いただけます。



配信については、左のQRコードまたは「彦根市議会インターネット映像配信」にてご覧ください。(https://www.hikone-city.stream.jfit.co.jp/)

各議員の質問をQRコードから見る

各議員ページ右上のQRコードを読み取っていただくと、それぞれの議員の質問内容に関する録画映像配信ページにつながります。



黒澤 茂樹議員

Q

開会式、閉会式、競技会場までの交通手段は

A

全ての会場が2 km未満のため、原則、交通手段の手配は行わない



その他の質問

- 彦根市の農業施策実施の考え方について
- 児童・生徒の体力(「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」)について

Q J R等の鉄道を利用し来彦された方の会場までの交通手段確保は。

A 滋賀県の「輸送交通基本計画」の中で、原則として最寄駅から概ね2 km未満の距離にある会場への交通手段の手配は行わないこととされており、彦根市においても、全ての競技会場が最寄駅から2 km未満であるため、原則、交通手段の手配は行わない方針である。

Q 市内や近隣町の方が競技観戦に来られる場合の駐車場確保は。

A 各競技会場の駐車場について、市民や近隣の市町にお住まいの方は自家用車でのご来場が一定数想定されるため、ひこね市文化プラザ駐車場や金亀公園駐車場、彦根港臨時駐車場など市有地や県有地を中心に確保できるよう調整を進めている。具体的な駐車場の利用計画については、今年度策定する輸送交通計画の中で検討する。



▲国スポ・障スポのぼり旗